

受験番号	
------	--

## 令和6年度総合型選抜2期

# 小論文課題

### 〔設問〕

次の文章を読んで、「知性がある人」について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

自分自身で物を考えられる。それが真に知性のある人です。近代日本では明治以降、輸入された西洋の知識を紹介し、わかりやすく説明できる。それに長けた人を「知識人」と呼んできました。博学であれば「知性がある」と考えられてきたのです。確かに知識人のおかげで、私たちは多くの西洋の概念を知ることができたため、高い文化を享受<sup>きやうじゆ</sup>しています。

しかしながら、「知性とは何か？」を改めて考えると、ただ仕入れた知識を右から左に受け流すだけでは、「知性がある」とはいえないでしょう。なぜなら知性とは、「自分自身で物を考えられる」ことであり、つまりは「生きる力」につながるものだからです。

いくら知識があつたとしても、頭でっかちであれば、いざというときに右往左往して終わりです。とりわけ現代のように混迷した時代であれば、人は生きる力になり得る何かを得たいと思うものです。どういう状況でも自分の頭と体を使って考えて行動できる。そのようなあり方が知性ある人ではないかと思えます。

【齋藤 孝『知性の磨き方』より抜粋】